

第一次提言「旧芋井中学校及び支所周辺の公共施設再配置(案)」までの主な取組み

期 日	主な取組み 内容	
平成27年10月22日	市公共施設マネジメント出前講座（長野市から総論の説明）	
11月6日	市から公共施設再配置モデル地区協力の依頼有り（地区承諾）	
平成27年12月～ 平成28年7月	コンサル・アドバイザー、市公共施設見直し担当課（行政管理課）等との協議 【随時協議開催】	
平成28年4月5日	副市長 現地視察	
5月13日	市議会特別委員会 現地視察	
5月20日	公共施設適正化検討委員会 現地視察	
5月～ 7月	地区ワークショップ開催 計4回（5/21、6/4、6/11、7/2） （WSメンバー：地区住民、信州大学生など 32名）	地区内チラシ回覧の実施
7月26日	市から地区WS終了後、地元検討委員会の設置について依頼有り（地区承諾）	
9月6日	芋井地区公共施設整備検討委員会（委員：地区住民 25名）開催要領施行	
10月～ 平成29年 2月	芋井地区公共施設整備検討委員会 開催 計3回（1回目：10/28、2回目：12/17、3回目：2/21）	
3月下旬～ 4月21日	第一次提言内容「旧芋井中学校及び支所周辺の公共施設再配置（案）」 について意見募集（全戸配付チラシ）	
5月30日	第4回芋井地区公共施設整備検討委員会 開催 意見募集結果について協議 【児童センターの再配置に関する意見1件、社会体育館の後利用について4件】	
6月19日	第一次提言内容「旧芋井中学校及び支所周辺の公共施設再配置（案）」 決定	

芋井地区公共施設再配置に関する  
第一次 提言書

芋井地区公共施設整備検討委員会

提言日 平成 29 年 7 月 7 日

長野市長 加藤 久雄 様

## 芋井地区公共施設再配置に関する提言書

長野市では、人口減少や少子高齢社会の進展の中、将来にわたり持続可能な行財政運営を基本としながら、活力・活気のある地域コミュニティを維持していくため、「将来世代に負担を先送りすることなく、より良い資産を次世代に引き継いでいく」ことを基本理念とし、公共施設マネジメントに取り組まれています。

こうした中、芋井地区においては、昨年5月から7月にかけて、他地区に先駆けて市民ワークショップを開催し、地区内外の幅広い年代が参加して、貴重な学びや意見を得ることができました。

その学びや意見を参考に、総量縮減目標を踏まえながら、複合化・多機能化を視野に入れた具体的な施設再編整備のための検討を行う「芋井地区公共施設整備検討委員会（平成28年9月6日設立）」を開催し、地区住民への意見聴取も行いながら、協議を重ねてきたところです。

この度、芋井地区の第一次提言として10施設を対象に「芋井地区公共施設再配置基本方針」を取りまとめたので、提出いたします。

地域住民の関心も高いことから、本基本方針を踏まえ、公共施設の再配置に取り組まれることを期待します。

平成29年7月7日

芋井地区公共施設整備検討委員会  
座長 和田 智

### (提言要旨)

旧芋井中学校及び支所周辺の公共施設の再編に当たっては、本委員会が取りまとめた「芋井地区公共施設再配置基本方針（以下、基本方針という。）」に基づき、実施されたい。

再編時期については、基本方針中「行政サービスゾーン」については、早期に取り組まれたい。また、同「教育文化ゾーン」については、駐車場の整備を最優先とされたい。

基本方針中「コミュニティー・民活ゾーン」については、地域コミュニティー施設として活用が可能な形で、民間の力を活用した施設とされたい。

施設については、「芋井農村環境改善センター」「芋井地区教職員住宅」「芋井体育館（社会体育館）」については、基本方針に基づき廃止されたい。

また、旧芋井中学校北校舎については、取り壊しの上、駐車場を整備されたい。

### 【資料】

- ・ 芋井地区公共施設再配置基本方針
- ・ 芋井地区公共施設再配置基本方針《概要版》
- ・ 芋井地区第一次提言説明資料
- ・ 芋井地区公共施設整備検討委員会開催要領
- ・ 芋井地区公共施設整備検討委員会名簿